

光明禅寺

第 490 号

令和五年七月

現在に活きる

仏の教え

落ち込まない人間はいない。
だからと言って、しよちゆう落ち
込んでゐることはないぞ。

僕たち、ずいぶん遠くまでさが
しに行つたけど、ほんとうは、探
し物はここにあつたんだ。

振り下ろす 剣の下は 深見川踏
み込んでこそ 浮かぶ瀬もあり。

(武術の極意)

始めることさえ忘れなければ、人は
いつまでも若くある。

電話 221 4127 (4143) 090 7981 9123
FAX 241 3519

(県市文化財指定安道所)
〒91-0303 福井県南迫田二七六八

七月の行事

一 曉天竺禅 初一日曜(二日) 朝六時
初三日曜(十六日)

一 地藏尊・水子供養

観音様・鎮守神・六月灯

二十四日 二時

◇お援助簿◇

田中千ヨ子様 お花代を頂きました。皆様に お知らせ致します。

有難うございました。

・お和尙の話し

初めてカラオケにつれていってもらった歌を歌うのは、あまり好きではないので、聞くのは好きです。それで令和音頭を聞いて、こんな歌があるのと、びっくりしました。これが令和音頭の歌です。

令和音頭

氷川きよし

一右を向いても 左を見ても そこに
笑顔があるようだ そんな 未来を
作りたい 冬が終れば 春が来る
梅の花咲く 春が来る さあさ 皆様
お手拍子 ソレ シヤ シヤ シヤ シヤ シヤ
二、一人一人が 誰かの為に 愛をちよっぴり

おすそ分け 出来る事から 初めよう
雨が上って 虹が出る 夢も七色
虹かける さあさ 皆様 お手拍子
ソレ シヤ シヤ シヤ シヤ シヤ
令和音頭で 幸せよぼう

どうですか 未来の為に 後悔のない人生
を頑張って 自分の足音を残して
いますか？

・研修会について

今回は山川様に檀信徒研修会に出水
市「マルマエ音楽ホール」に出会って頂きま
した。これがその時の写真です。

会場





宇真中央が「ジミールハ枝」
一九七二年生 鹿児島県いちき
串木野市羽島出身
「ザ・キンゲトーンズ」に師事
楽しく一日をすごして
頂きます。

・ 天地自然の恩

人はただ一人では生きられない
多くの人や、物に支えられ

生かされることによつて生きている

これは仏教で説く三法印（仏教の三つの根本原理）の一つである。「諸法無我」を平易に普遍的に表現した言葉で、まさに名言であり、箴言でもあります。ともすれば私たちは自己中心的なエゴイストに陥りやすく、何事も自分中心に物事を判断し

がちになる面を持っていきなり、そうした根因は、貪（あらゆる欲望）、瞋（つまりやめぬことに立腹する）、痴（正しい判断のできぬ愚かさ）の三毒の煩惱にあるわけで、それが災いの種となって、心の深奥にある清浄心がくうまされていくのです。とかく私たちは、自分一人の力で生きていくかのよう錯覚しがちですが、考えてみれば、いかに偉大な人でも、自分一人の力では決して生きられませんが、

生かされてはくるや今日のこの生命

天地の恩限りなき恩

仏教でも儒教でも、四恩（父母・師、天地自然界、衆生、社会）を説きますが、その四恩のおかげなくして生きていく人は、一人もありません。たとえば、空気、太陽、水、土といった天地自然界の

恩恵。このどれ一つが欠落しても、私たちはほきではいけない。そうした支えやおかげを、仏教では「縁」とい、「冥助」と言いますが、そのご縁を私たちはともすれば忘れがちになり、当たり前前だと錯覚しがちです。

箸とらば天地自然の因心を知れ
われ一カで食うと思ふな

あるいはまた、体内の心臓にしても、瞬時の休みもなく鼓動し続けていればこそ、呼吸もでき、さらには百四十億の単細胞の一つひとつの働きによって生きられるのです。

謙虚に生きる

私たちの日常の身の回りで「恥を知れ」といいたくなるような出来事には事欠かないのではないでしょうが、作家の

五木寛之さんの「生きるヒント」の中に、いいかげんで、頼りなく、どうしようもない自分でも、それでもなお、なんとかよりよく生きようともかいている生命。その自分こそ、かけがえのない存在ではないか。人間は誰でも自分がちばん大切なのです。そして、そのことをほんとうに自覚した人間だけが、自然なところで他人を大切に思うことができるようになります。ありますが、生き方の示唆を与えられるものとして考えさせられます。恥の意識が失われたという嘆きが聞かえてきくような今日ですが、そんなとき、五木さんではありませんか、わたしたちは、自分自身に対して、少しでも謙虚に生きる姿勢を日常にととのえたいものです。そこで、恥を知り、よりよく生きる道かとのうことでしょう。